



田原中学校だより

第11号 令和3年3月22日

〈生徒指標〉

よく学び よく鍛えよ



本校のホームページアドレス⇒<http://www.ueis.ed.jp/school/tawara-j/>
携帯電話・スマートフォンから、本校のホームページがご覧になれます。
バーコードリーダー機能で、読み取ってご覧ください。



第74回 卒業式



3月11日(木)に第74回卒業式を挙行了いたしました。今年度も新型コロナウイルス感染症対策として、卒業生、保護者、教職員のみでの出席による実施となりました。

当日、在校生は休業日扱いとしたので出席できませんでしたが、代表として2年生の相澤実来さんが送辞を、3年生を代表して齋藤涼夏さんが答辞を述べました。

1時間あまりでしたが、式にふさわしい所作が際立つ、素晴らしい卒業式となりました。卒業生、そして保護者の皆様、誠にありがとうございました。



校長式辞より

巣立ちゆく皆さんの門出に向けて次の言葉を送ります。それは「歩み続けろ、そして転んでもただでは起きるな」です。この言葉は偉人や著名な人の言葉ではなく、私が日々心掛けていた言葉です。昨年度から今年度にかけてはコロナ禍により、学校の活動も含め社会全体に制限や制約が不可欠になってしまいました。そのような中、皆さんは絶望感や無力感に押し流されてしまっていたのかというと、そうではありません。しっかり現実と向き合い、対応しながら日々を過ごし、工夫をすることで限られた時間・場所の中で最高の結果を残すことができました。〈中略〉卒業生の皆さん、皆さんの未来は洋々と輝いています。夢や希望を持ち、感謝する心を忘れずに歩いていってください。巣立ちゆく皆さんの未来に、幸多かれと祈りながら、学校長の式辞といたします。

弁護士参加による授業

2月25日(木)、安田弁護士、奈良部弁護士、山口弁護士の3名の弁護士の方々が3年生の社会科の授業に講師として加わり、齋藤教諭とともに授業を行いました。授業内容は公民的分野の「法と社会を考える」で、授業の視点は「法律と一般的な社会通念の違いを知り、法治国家の中で生きる国民としての資質を養う」、「法律の専門家である弁護士の意見を聞き、法的考え方を学ぶ」でした。

授業の冒頭に、架空の事例について齋藤教諭から説明があり、それが事故なのか事件なのかの判断を通して、生徒たちは法律について学びを進めていきました。弁護士さんからは、専門的な話も交え、わかりやすく丁寧な説明もいただきました。身近にある出来事にも法律が深く関係し、法の大切さと学ぶことの意味を深く感じられた授業となりました。



保護者会



3月16日(火)に、1、2学年の保護者会がありました。今年度はコロナ禍により、これまで数回の実施が見送られ、今回が初めて最後の授業参観・保護者会となりました。

5校時の授業参観が終わり、生徒の下校後に保護者の方々は1、2学年それぞれ南館多目的室、体育館へ移動し、保護者会を行いました。1学年の内容は、1年間を振り返ってのスライドショーや令和3年度立志記念スキー教室そして令和4年度修学旅行等について

です。2学年は進路、生活・学習に加え、令和3年度修学旅行等についてでした。来年度においても、実施については不透明なところがありますが、引き続き本校教育活動への保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



ふれあい文化教室



ふれあい文化教室が3月15日(木)、19日(金)の両日に行われ、それぞれ1、2年生が参加しました。今年は「三味線を通して、我が国の音楽に親しむ心情を育てる」を目的とし、講師の小山貢清世先生、他4名の先生方が楽器の説明や実演、そして演奏指導を行いました。小学校の時に体験している生徒もいましたが、生まれて初めて三味線にふれる生徒も多く、最初は怖々とした態度でしたが、指導を受け、慣れるに従って落ち着いて演奏できるようになりました。生徒は今回の体験を通し、日本古来の楽器とその音楽の良さを十分に感じる事ができました。